

平成21年7月24日

各位

会社名 荒川化学工業株式会社  
本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号  
代表者名 取締役社長 末村 長弘  
(コード番号 4968 東証第一部、大証第一部)  
問合せ先 取締役経営企画室長 谷奥 勝三  
TEL (06) 6209-8500(代表)

## 広西荒川化学工業有限公司への出資持分増加（完全子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成21年7月24日開催の取締役会において、中国広西壮族自治区に合弁で設立している子会社である広西荒川化学工業有限公司の出資持分を増加し、100%子会社とすることを決議しましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 出資持分増加の理由

当社は、第2次中期5ヵ年経営計画（平成20年4月～平成25年3月）において「基盤事業のさらなる拡大」を基本方針の一つとして掲げており、基盤事業の徹底した低コスト体質への変革と、事業の継続的な発展・拡大を実現するための見直しを行なうとともに、アジアを中心とした海外市場の開拓による事業の拡大を推進しております。

当社は明治9年の創業以来130年を超える永きにわたり、ロジン（松脂）関連化学製品（製紙用薬品、印刷インキ・塗料用樹脂、粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤等）の製造・販売を行っており、その主要原料となるロジンとして主に中国産のガムロジンを使用してきました。中国はガムロジンの世界最大の産地であり、従来は国有企業によってガムロジンの生産が行われていましたが、平成13年のWTO加盟にともない民営の生産工場が台頭するなど自由化が進められております。

このような状況のもと、より安定的なロジンの確保と生松脂からロジンおよびロジン誘導体までを一貫生産することによる効率化と品質の向上を目的として、平成16年に広西荒川化学工業有限公司を設立いたしました。このたび、荒川化学グループとして基盤事業のさらなる拡大を目指し、中国における事業展開をより迅速に実施できる体制を整備するために、三井物産株式会社の出資持分20%を譲り受け、広西荒川化学工業有限公司を100%子会社化することを決定いたしました。

### 2. 出資持分増加の概要

出資比率（出資持分の所有割合）の変化

	(変更前)	(変更後)
荒川化学工業株式会社	80%	100%
三井物産株式会社	20%	—

### 3. 日程

平成21年7月末 出資持分譲渡契約書締結（予定）

#### 4. 広西荒川化学工業有限公司の概要

(1)	商号	広西荒川化学工業有限公司
(2)	代表者の役職・氏名	董事長 石部 修平 董事總經理 松高 純夫
(3)	所在地	中国広西壮族自治区梧州市外向型工業園区
(4)	設立年月日	平成16年(2004)6月17日
(5)	事業の内容	ロジンおよびロジン誘導体などの製造ならびに販売
(6)	生産能力	約45,000トン/年
(7)	決算期	12月31日
(8)	従業員数	約150名
(9)	主な事業所	本社・工場(梧州市)
(10)	資本の額	登録資本 12,000千ドル

#### 5. 今後の見通し

広西荒川化学工業有限公司の出資持分増加にともなう、当社の今期連結業績への影響は軽微であります。

以上

#### [参考資料]

#### 《荒川化学グループ国際展開の歩み》

##### 明治

9年11月(1876) 荒川政七が大阪市東区伏見町2丁目に生薬商を開業

##### 昭和

6年 1月(1931) 合資会社荒川商店に改組

18年11月(1943) 荒川林産化学合資会社に改称

31年 9月(1956) 荒川林産化学工業株式会社に改組

42年 5月(1967) 天立化学工業股份有限公司(現、台湾荒川化学工業股份有限公司)を設立

43年 5月(1968) 台北駐在員事務所を開設

52年 4月(1977) 荒川化学工業株式会社に改称

57年 5月(1982) ARAKAWA CHEMICAL (USA) INC. を設立

##### 平成

7年 6月(1995) 梧州荒川化学工業有限公司を設立

7年 7月(1995) ARAKAWA CHEMICAL (THAILAND) LTD. を設立

7年10月(1995) 香港荒川化学有限公司を設立

8年 8月(1996) 厦門荒川化学工業有限公司を設立

10年11月(1998) ARAKAWA Europe GmbHを設立

15年11月(2003) 上海駐在員事務所を開設

16年 4月(2004) 南通荒川化学工業有限公司を設立

16年 6月(2004) 広西荒川化学工業有限公司を設立

20年12月(2008) 広西梧州荒川化学工業有限公司を設立